

SOIC DX推進事業について

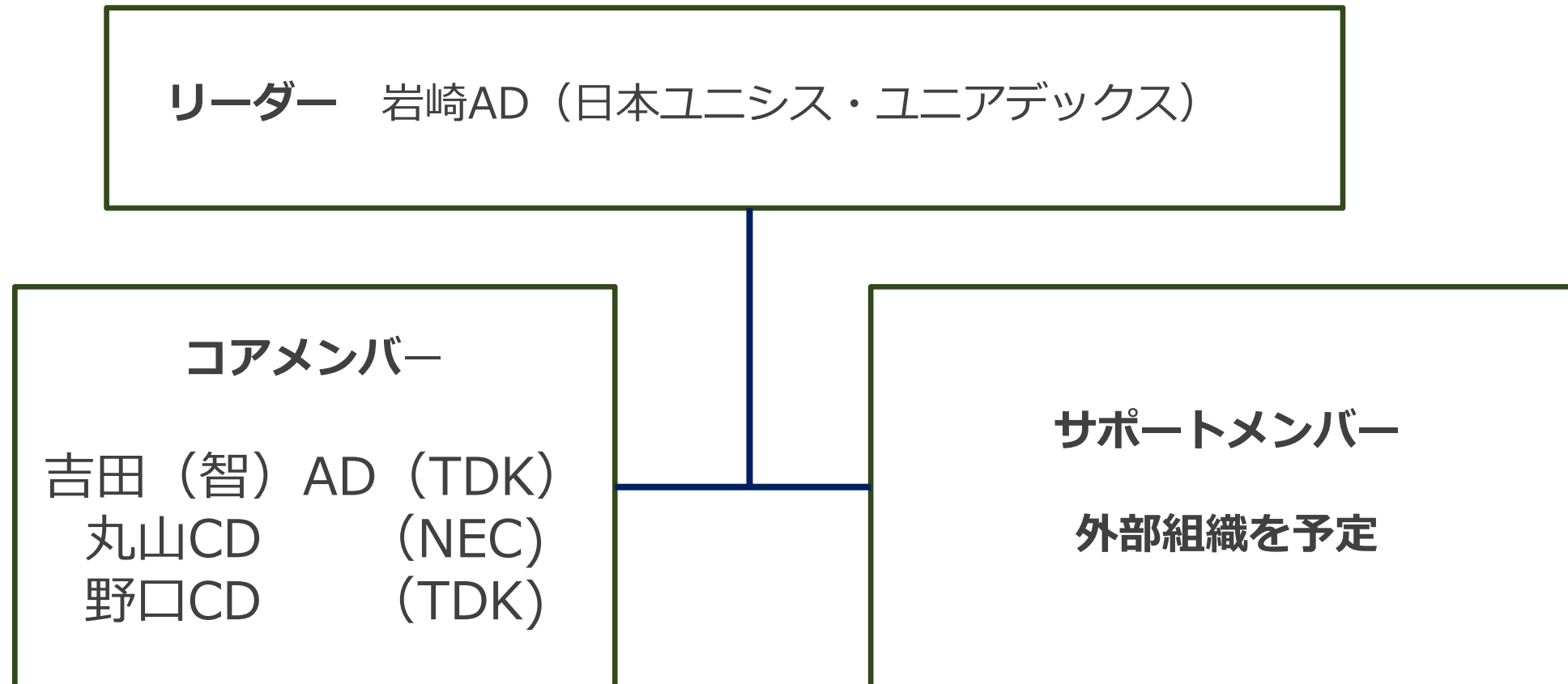
一般社団法人 佐久産業支援センター

センター長 遠藤 英夫

DX推進チーム リーダー 岩崎 丈

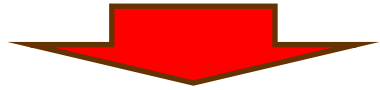
DX推進チームをSOIC事務局内に設置する

AD:アドバイザー
CD:コーディネーター



1. DX推進の目的

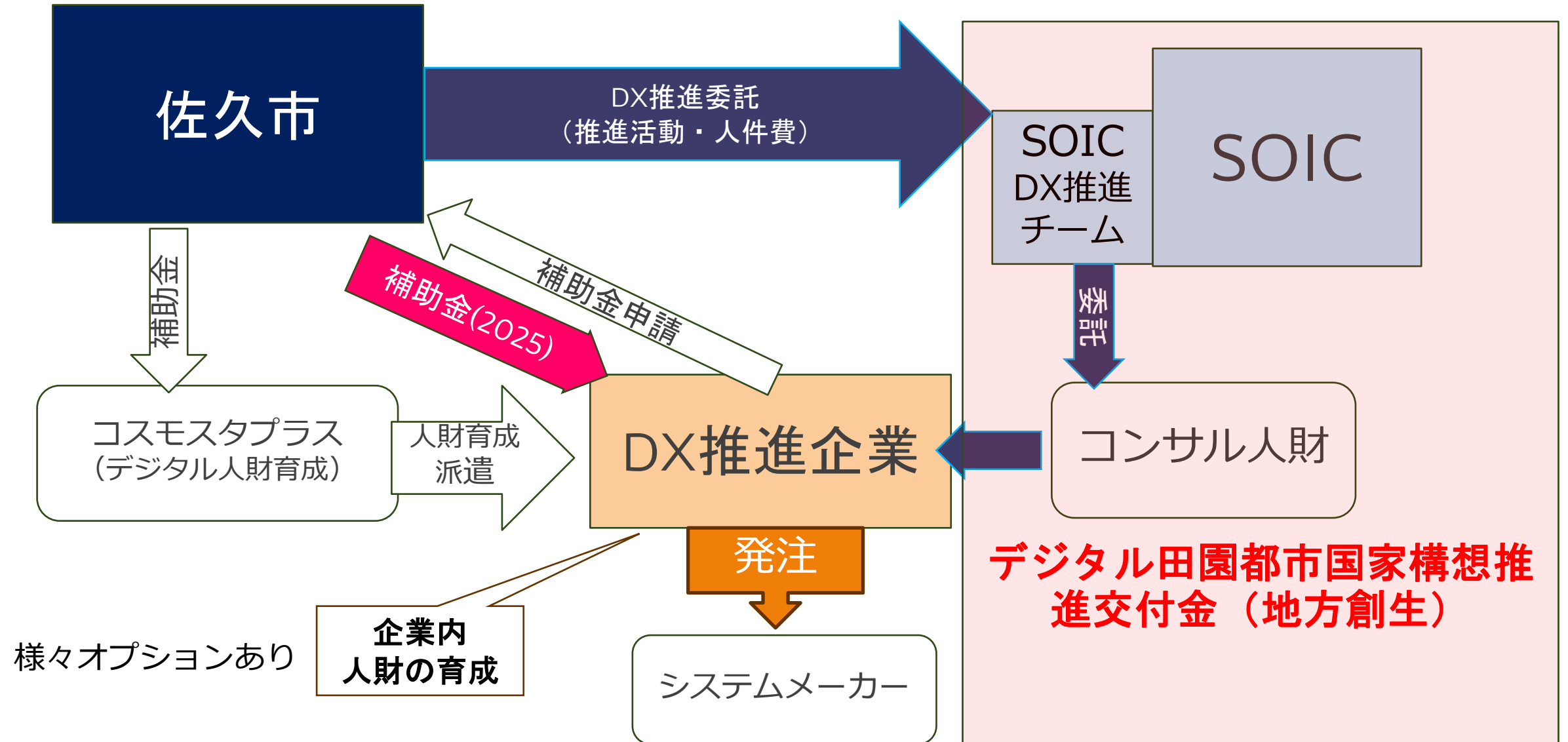
昨今の社会情勢に対応すべく、事業革新（DX）を
検討・推進する企業を支援する



人々が「働く幸せ」を獲得できる未来へ。

『人にやさしい、人を幸せにするDX』
Well-being City SAKU

2. デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生）の活用



課題 1

生産システム内の各サブシステムの
即時自動連携不可

課題 2

間接業務の作業負荷

課題 3

デジタル (DX) 人材不足

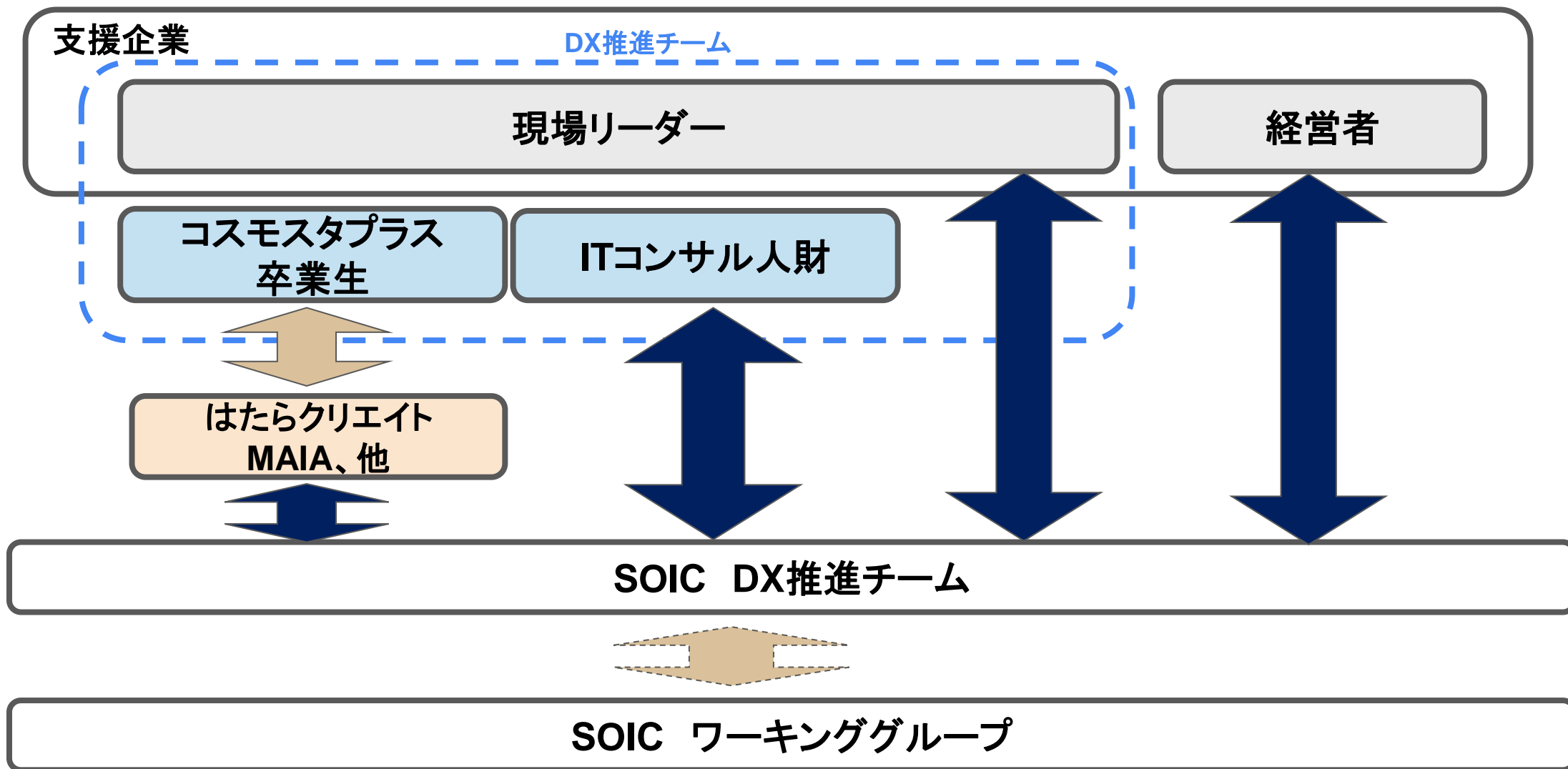
4. DX推進ポイント

課題解決に向けソリューション、DX人材（社外）の 組み合わせによる支援

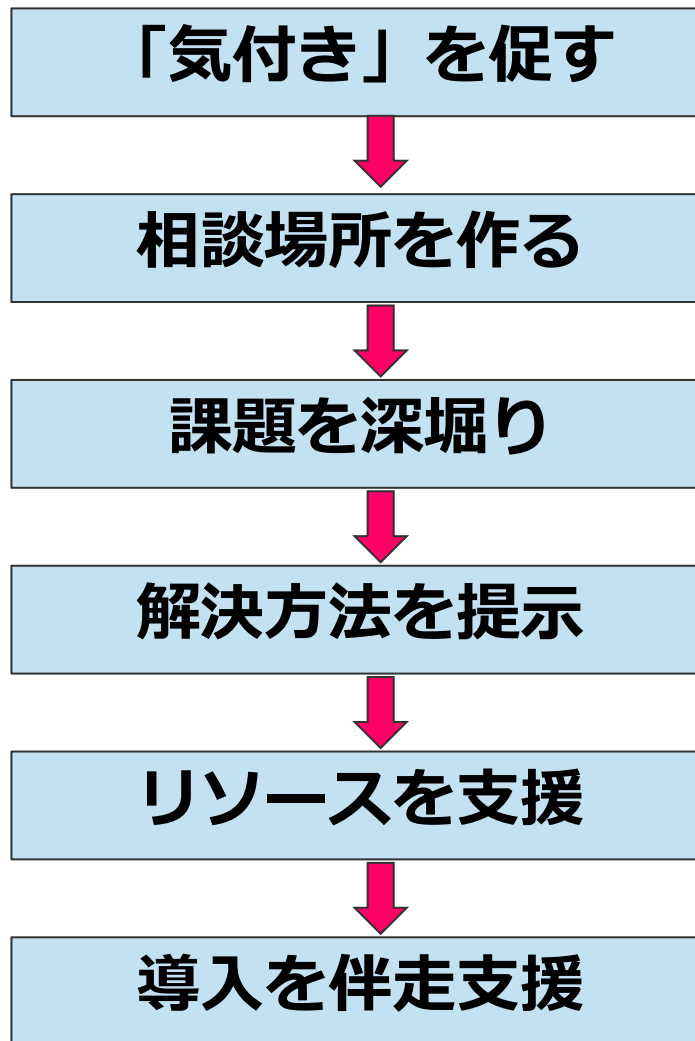
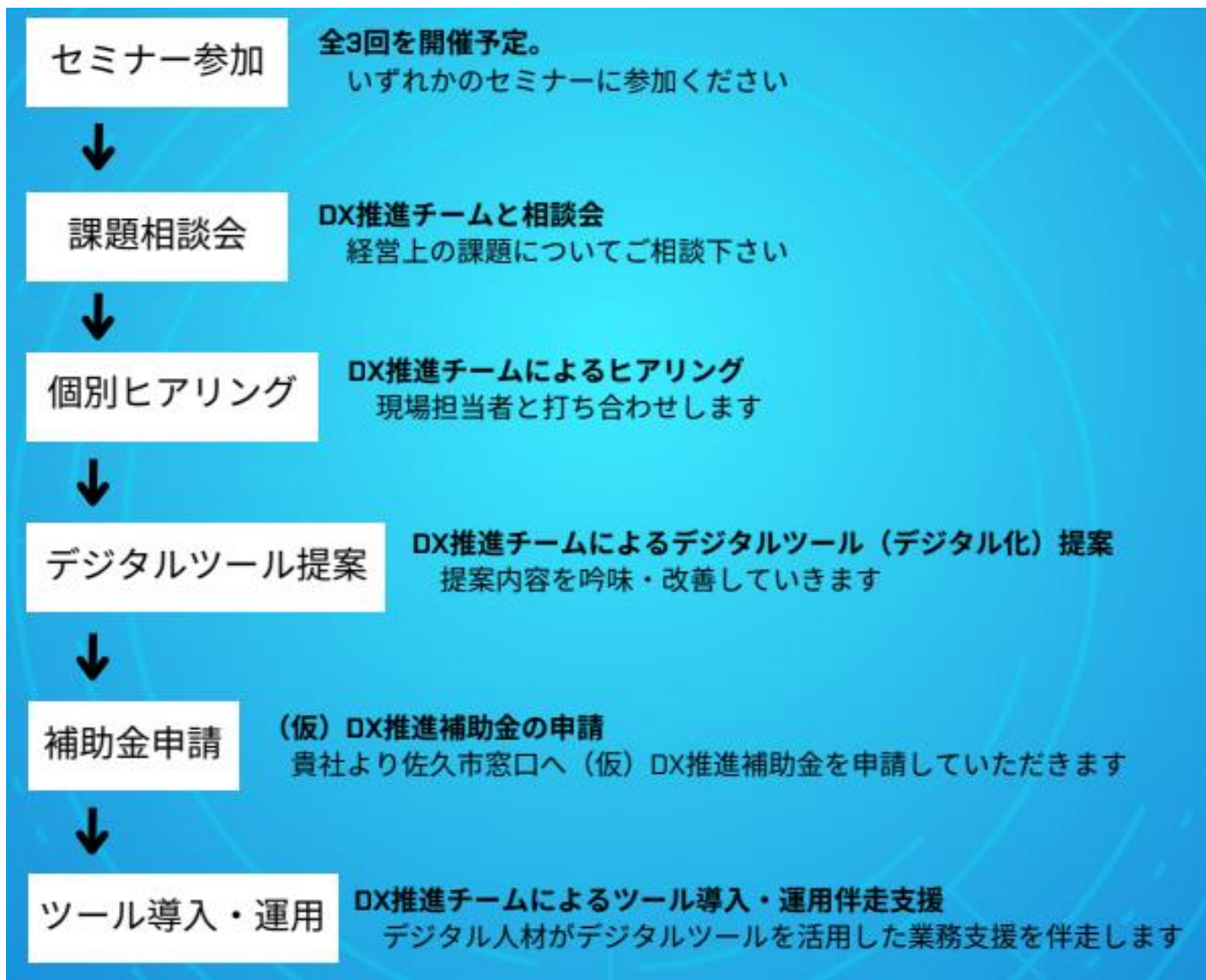
活動項目	ソリューション	ITコンサル人材	コスモスタプラス
業務システムの 即時自動連係	ERP コンポーザルERP	IT事業者 MAIA	SAPコース卒業生
間接業務の 作業負荷	グループウェア RPA、AI	IT事業者 はたらクリエイト	IT基礎コース卒業生
WEBマーケティング	HP、SNS活用	IT事業者	WEBデザインコース 卒業生
その他	個別	IT事業者	個別採用

5. DX推進支援体制

関係図



6. デジタルツール導入フロー



7. 支援対象企業

■ 支援対象・条件

- ・ 佐久地域に事業所を持つ中小企業(業種は問いません)
- ・ 『デジタルを活用した業務革新』が期待できる業務課題に取り組む企業
例) 業務コストの大幅削減、業務データのリアルタイム可視化と活用、
異なる顧客セグメントへの新規商品・サービス提供、等
- ・ 採用されたソリューションが地域内企業への地域展開も望めるものであること
(DX推進チームで考慮)
- ・ 経営者または社員が「佐久地域DX推進セミナー」3回に参加する

■ 支援内容

- ・ 現状の業務課題の整理と業務革新についてコンサルをします
 - ・ デジタルツール導入の場合、導入および運用を支援します
 - ・ 必要に応じてデジタル人財を紹介します
- ※ ソリューションに必要な導入費用については、佐久市の補助金活用（2025年度より新設）を予定しております